

## 様式B（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書）

令和 7 年 7 月 24 日

## 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書

## 1. 希望する事業の種類（いずれかに○印を記入してください。）

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	
2. 試作介護機器へのアドバイス支援事業	○

## 2. 依頼者（企業）の概要

企業名	株式会社ハッピーリス	
担当者所属	代表取締役	
担当者名	吉田理恵	
担当者連絡先	住所	〒144-0044 東京都大田区本羽田2-12-1 テクノウィング403
	電話	03-5493-1487
	電子メールアドレス	r-yoshida@happypris.com
主たる業種	産業用音響機器開発製造販売	
主要な製品	ごっくんチェッカー, 異音センサー	
希望する施設等の種類や職種等 希望施設に☑を入れてください 複数選択可	<input checked="" type="checkbox"/> 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム <input checked="" type="checkbox"/> 介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護：グループホーム <input type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 等 <input type="checkbox"/> ショートステイ <input checked="" type="checkbox"/> 障害者福祉施設 <input type="checkbox"/> 医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター 等 <input type="checkbox"/> その他：（ ）	
その他		

## 3. 当該機器の開発コンセプト又は試作介護機器等の概要（可能な限り詳しく記入してください。）

機器の名称（仮称）	りっぶdeチェック	
試作介護機器の有無及び機器のコンセプト（試作介護機器があれば <u>写真を添付</u> ）	試作介護機器の有無	①. 有 ・ 2. 無
	機器の目的及び特徴	<p>本製品は高木（歯科医師）、足立（前筑波大学准教授）らが発明し2019年日本摂食嚥下リハビリテーション学会で発表した口唇圧計を当社が実用製品化開発したものである。従来口唇圧を計測する機器としては、唇で器具を挟んでセラピストが引っ張りその力を計測するものがあったが、本来唇は垂直方向に閉じるものであり、本製品はスプーン状のセンサーに食物を乗せて唇でくわえた状態を計測するため、捕食時の真の口唇圧を計測することができる。</p>

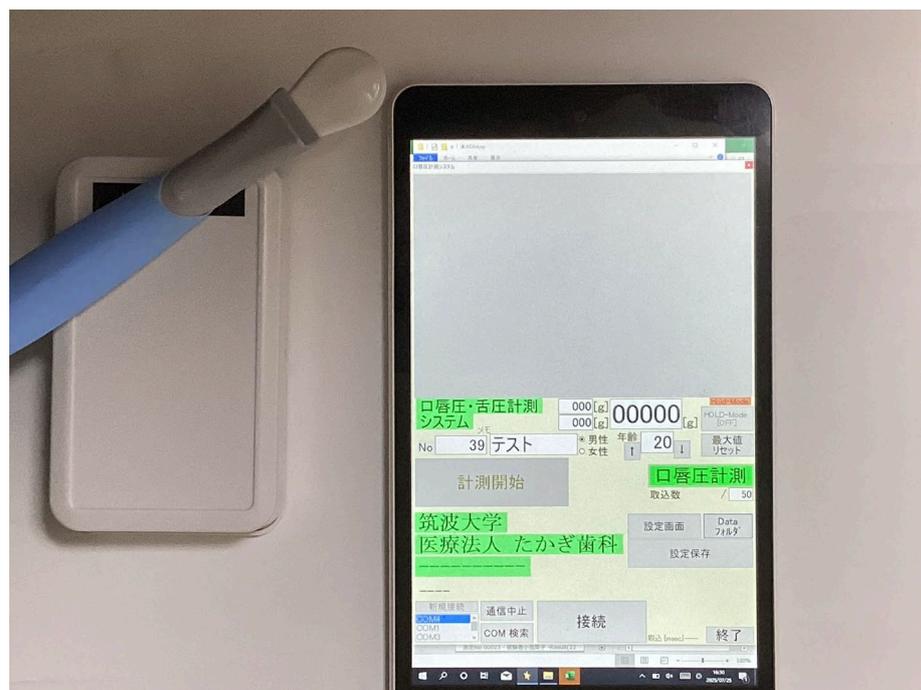
高齢者、障害者においては、食物を捕食しにくい、または捕食後口からポロポロ出てきたり、口を閉じる力の衰えでよだれがたれ続けるなどが起こっている。

口腔嚥下リハビリにおいて食べる行為は大きく5段階に分けられ、①先行期（食物の認知・捕食）②準備期（咀嚼）③口腔期④咽頭期⑤食道期の順である。

当社**ごっくんチェッカー**は咀嚼から食道への送り込みまでの4段階の状態を食事介助中に計測しながら、咽頭残留が増えていたり誤嚥の推測が計測されれば食事休止して喀出、吸引を促すことで、誤嚥しないよう安全に食事を進めるための機器であるが、捕食の力や食物認知力に関しては計測しないものであるため、第一段階である認知・捕食に関して、本製品と併用すると、より食事リハビリの効率が向上すると考える。

また、本製品はセンサーとなっているスプーンで食事を進めることにより、健全な利用者が食事の自立支援、介護予防のために自身で口唇圧を見ながら（解析ソフトにてグラム数とその変化の波形で表示）食事を進めたり、ストロー飛ばしや口唇圧が弱ければ箸をくわえて左右に転がすトレーニングなど、口唇機能訓練の目安ができる。

製品はスプーン状のセンサー、アンプ、解析ソフトをインストールしたタブレットから成る。



	 <p style="text-align: center;">口唇圧データ                      舌圧データ</p>
<p>想定する使用者及び使用方法、使用場面</p>	<p>① 想定する使用者 PT、OT、ST、管理栄養士、歯科衛生士 高齢者、障害者で口唇を閉じる力の弱い方</p> <p>② 想定する使用場面 食事介助中</p> <p>③ 想定する使用方法 スプーン状のセンサーを食物保存と同じ素材のビニールカバーで覆い、スプーンの上に食塊を乗せ、まず食物であることを認知する。次にその食塊を唇でくわえて捕食する。口唇圧がわかるようにするため、スプーンには前歯あてがついており、スプーンを口の中に押し込むのではなく、前歯手前で唇を閉じるようになっている。唇を閉じて食塊を加えた時の口唇圧計の変化を見て、捕食の強弱を確認する。その後、スプーンを口の中へ入れると、舌圧を見ることも可能。このように食事介助中に口唇圧を見ながら、「次の一口はもう少し強くくわえてみよう」といった食事リハビリをし、食事が進む間にどの程度口が疲れてきているかを口唇圧から推測しながら食事ペースを判断する。</p>
<p>特にアドバイス（意見交換）を希望している事項</p>	<p>捕食した食物、液体が口からこぼれやすい方の口唇圧を上げるための機器として、捕食のための認知が弱い方がスプーンを口に当てた瞬間開口できるようにするための機器として、現場でのセラピストの使い勝手について意見交換を希望。</p>
<p>現在の開発状況と主な課題</p>	<p>量産用製品筐体にセンサー、アンプを組み込んだ完全製品が9月初に完成予定。認知機能の低下している方が捕食時センサー部分を噛まないようにして摂食介助するコツ。</p>
<p>その他</p>	<p>介護テクノロジー開発実績 TAISコード <a href="http://01762-000002">01762-000002</a> <a href="http://ごっくんチェッカーDX+解析ソフトMySwallowPC">ごっくんチェッカーDX+解析ソフトMySwallowPC</a></p>

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。



## 会社概要

### 株式会社ハッピーリス

設立 2006年12月4日 資本金 41,602,750円  
本店・工場 東京都大田区本羽田2-12-1 テクノWING403 TEL 03-5879-4260 FAX 03-5879-4261  
音響スタジオ 東京都大田区大森北3-43-7-1301 TEL 03-5493-1487 FAX 03-5493-1444  
webサイト <https://gockun.com> <https://www.happyris.jp> <http://www.happyris.com>  
代表取締役 社長 吉田 理恵  
従業員 6名

業務内容 音響製品開発製造販売、医療機器開発製造販売、音楽制作、音楽教育  
事業の特徴 音波・振動・圧力に関わる独自技術を用いて、生産・インフラ・医療介護の様々な検査における課題を解決するセンサーを開発。  
取引銀行 みずほ銀行 さわやか信用金庫 川崎信用金庫 楽天銀行

#### <沿革>

(代表取締役吉田経歴)

1987~1990年

1991年~

1995年~

2003~2006年

(株式会社ハッピーリス沿革)

2006年12月 株式会社ハッピーリス設立、代表取締役吉田理恵  
2007年3月 大田区創業支援施設BICあさひに入居  
2007年5月 胎児心音受注製作CD販売開始、住友生命にて取扱  
2008年4月 大田区新製品新技術支援助成にて、聴診器の音を携帯電話に録音する音響製品「ケアレコ」を開発  
2008年10月 胎児心音関連商品、ケアレコをミキハウスマタニティショップのベビーハウスが販売開始  
2009年3月 「聴診器音声モバイル録音・送信システム」で総務省・経済産業省後援「MCPCアワード2009」奨励賞受賞  
2009年8月 ケアレコ直販開始、「ケアレコ」のビジネスモデルが川崎市ビジネスアイデアシーズでトリプル受賞  
2009年10月 大田区新製品新技術コンクールでケアレコが奨励賞受賞  
2009年11月 大田区テクノWINGに事務所・工場を移転  
2010年2月 第一回大田区ビジネスプランコンテストでケアレコのペットビジネスモデルが入賞  
2010年3月 「MCPCアワード2010」で動物体調管理モデルが奨励賞受賞(同アワード初の2年連続受賞)  
2010年4月 ケアレコが東京都の支援採択製品に認定。  
2010年7月 医療介護での生体センサー開発開始  
~2012年 ケアレコの技術応用で非破壊検査の異音検査機器として製造開始  
2012年12月 「京都テクノロジー&ビジネスプランコンテスト」受賞  
2013年 フジテコム社と漏水検査器具を共同開発。特許取得済  
東京医科歯科大学協力で嚥下音確認装置を開発。  
2014年3月 第88回かわさき起業家オーディションで嚥下音確認装置がトリプル受賞  
6月 日本政策投資銀行主催内閣府経産省後援「第3回女性新ビジネスコンペティション」受賞  
8月 ごっくんチェッカーが厚労省介護ロボットモニター事業採択(2014年-2017年3年連続採択)  
エビデンス協力機関が浜松市リハビリテーション病院(院長:藤島一郎)となる  
11月 MITベンチャーフォーラム新日本賞受賞  
ケアレコの集音技術が「遠隔診断システム」の名称で特許取得  
2015年7月 大田区新製品新技術支援助成にインフラ設備音響製品およびアプリ開発で採択  
2016年2月 大田区新製品新技術コンクールでごっくんチェッカーが医療福祉賞受賞  
4月 ごっくんチェッカーが東京都の支援採択製品に認定  
5月 ごっくんチェッカーの量産化  
7月 シリコンバレーAging3.0日本代表大会にてごっくんチェッカーが受賞  
2017年3月 経産省ものづくり補助金採択により呼吸波形ソフト開発  
2017年8月 嚥下機能波形測定システム「My Swallow」が厚労省介護ロボットモニター事業採択  
漏水検査器具でフジテコム社と共同特許取得  
2019年 ごっくんチェッカーの医療機種「Smart Swallow」の指定管理医療機器認可取得、MySwallowを上市  
2020年 ヘルスケアのデジタルトランスフォーメーション機能を付加したごっくんチェッカーDXをリリース  
内部流動音センサーを販売開始  
2021年4月 「嚥下機能測定システム」の名称でごっくんチェッカーのセンサーと解析ソフトの波形判定法が特許取得  
2023年 腸内流動センサーを開発。